

2026 年度兵庫医科大学大学院

学 生 募 集 要 項

リハビリテーション科学研究科
リハビリテーション科学専攻

修士課程・博士後期課程

学校法人兵庫医科大学 建学の精神

社会の福祉への奉仕

人間への深い愛

人間への幅の広い科学的理解

目次

●入学試験日程	p.1
---------	-----

<修士課程>

●アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）	p.2
●出願概要	p.3
●試験概要	p.5
●合格発表・入学手続および学費について	p.6
●入学資格申請について	p.7
●リハビリテーション科学研究科 修士課程 概要	p.8

<博士後期課程>

●アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）	p.12
●出願概要	p.13
●試験概要	p.15
●合格発表・入学手続および学費について	p.16
●入学資格申請について	p.17
●リハビリテーション科学研究科 博士後期課程 概要	p.18

<共通事項>

●試験時間中の注意事項・対応・不正行為について	p.20
●試験会場アクセス	p.22

【出願書類一式】

本学ホームページよりダウンロードの上、両面印刷にてご使用ください。

兵庫医科大学ホーム>学部・大学院>大学院>入学案内（大学院）>大学院入学試験 募集要項

<https://www.hyo-med.ac.jp/faculty/graduate/admission/requirements/>



個人情報の取り扱いについて

出願および入学手続に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、
①入学試験実施（出願処理・試験実施） ②合格発表 ③入学手続および、これらに
付随する業務以外には使用しません。

その他、個人情報保護に関する法規に基づき、厳重なセキュリティー対策を施します。

入学試験日程

●事情により入試日程に変更が生じる場合は、本学ホームページ上でお知らせします。

I 期

募集人員 修士課程 : 8 名

博士後期課程 : 2 名

<日程>

2025 年 8 月		9 月		10 月	
8/4(月)~21(木)		8/29(金)		9/4(木)~12(金)	
←→		●		←→	
入学資格審査 申請期間		審査結果 通知		出願期間	
				9/27(土)	
				●	
				10/8(水)	
				●	
				合格発表 10 時	
				10/9(木)~20(月)	
				←→	
				入学手続期間	

※リハビリテーション科学研究科は I 期入試のみ実施予定となります。

※台風等の警報・自然災害により試験を実施できない場合は、翌日の日曜日に実施します。

< 修士課程 >

アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

高度な研究能力を有する医療専門職者を強く目指す以下のような人材を求めます。

【求める人物像】

1. リハビリテーション科学及び関連領域の知識を積極的に追及する意欲を有する人
2. リハビリテーション科学領域において、先駆的・学際的・発展的な研究を展開しようとする人
3. 自ら習得した知識や発展的知見を他職種と協調しながら医療・保健・福祉などの現代社会における問題解決に寄与できる人

【選抜方式】

外国語の筆記試験及び面接試験を総合的に判定します。

1. 外国語：英語論文を理解するための基礎的な語学力を判定します。
2. 面接：専門領域に関して、研究に必要な知識を判定します。
主体的・協動的に研究活動に取り組もうとする姿勢を判定します。

募集人員

8 名

出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業した者（入学日前月の末までに卒業見込みである者を含む）
- ② 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者（入学日前月の末までに学位授与見込みである者を含む）
- ③ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者（入学日前月の末までに修了見込みである者を含む）※外国においては 16 年ではない場合があるので、別途入学資格審査の対象となります。
- ④ 文部科学大臣が指定した専修学校の専門課程を修了した者（入学日前月の末までに修了見込みである者を含む）
- ⑤ 文部科学大臣の指定した者
- ⑥ 研究科において、個別の入学資格審査により、第 1 号に定める者と同等以上の学力があると認めた者で、入学日前月の末までに 22 歳に達した者

※出願資格③⑥により出願を希望する者は、事前に入学資格審査を受ける必要があります。

→対象者は P.7 へ

出願概要

出願期間

2025 年 9 月 4 日（木）～9 月 12 日（金）【必着】

- 出願期間内に必着するように、郵送または持参してください。
- 持参の場合の受付時間は、土日祝日を除く平日 9：00～17：00 とします。

出願方法

出願書類をとりまとめ、角 2 の封筒に「封筒貼付用宛先用紙(本学 HP よりダウンロード)」を貼付し、必要事項を記入の上、「書留速達郵便」で以下の住所まで送付してください。

〒650-8530

神戸市中央区港島 1 丁目 3 番地 6

兵庫医科大学（神戸キャンパス） 神戸教学課 大学院係宛

受験希望分野の担当教員との事前相談

- 出願者は受験希望分野の担当教員と事前に必ず連絡を取り、修士課程において取り組みたい研究内容について相談してください。その場合、担当教員のメールアドレス（P.10）を参照し、教員と直接メールにて連絡をとってください。
- 長期履修制度については担当教員に相談のうえ、「長期履修申請書（本学 HP よりダウンロード）」を出願書類に同封してください。

出願上の留意事項

- 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- 出願書類に虚偽があった場合には、入学後であっても入学を取り消す場合があります。
- 一旦提出された書類および入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- 出願書類の受理後、受験票を発送します。試験日の 2 日前になっても受験票が届かない場合は、神戸教学課 大学院係（078-304-3014）に連絡してください。

身体的に支障または障がいの有する者の出願

身体的に支障または障がい有し、受験上および修学上特別な配慮を希望する者は、原則として、各試験の 1 か月前までに神戸教学課 大学院係（078-304-3014）へご相談ください。なお、専門医の診断書等障がいの程度を示す書類を提出していただく場合があります。

出願書類等

<共通の必要書類>

必 要 書 類	摘 要
☐ A 入学願書	本学 HP（リハビリテーション科学研究科）からダウンロード
☐ B 志望理由書	
成績証明書	最終出身学校の学校長が作成し、厳封*したもので発行日から 6 ヶ月以内のもの。
卒業、修了（見込）証明書	※学位授与機構から大学卒業者と同等の能力を有すると認められ、学士の学位を授与された者は学位証明書のみ提出すること。（成績証明書は不要）
受験票・名票	本学 HP（リハビリテーション科学研究科）からダウンロード 出願時から 3 ヶ月以内に撮影したカラー写真（縦 4 cm×横 3 cm、上半身、正面、脱帽、無背景）を用意し、裏面に氏名を記入のうえ、所定の欄に貼り付けてください。
入学検定料	30,000 円（振込明細書の写しを提出） ※出願期間の 2 週間前より振込可能。 ※出願期間内に必ず受験者本人名義で振込ください。 （手数料本人負担） ※振込依頼人名の前に「インケンテイ」と入力してください。 （例）「インケンテイヒョウゴタロウ」 金融機関：三井住友銀行 支店名：西宮支店 預金種別：普通預金 口座番号：8899641 ヒョウゴイカダイガク コウベシンニユウセイガクノウキングチ 口座名義：兵庫医科大学 神戸新入生学納金口
返信用宛名用紙	本学 HP（リハビリテーション科学研究科）からダウンロード 郵便番号、住所、氏名を記入したもの（3 通分）。 ※入学試験合格者に対して、入学手続書類等を発送する際に使用します。
受験票返信用封筒	定型封筒（長形 3 号）に郵便切手（普通料金）を貼り、受験票を確実に受け取れる郵便番号・住所・氏名を記入してください。

・厳封*：偽造・複写防止用紙の場合は厳封不要。

<該当者のみ提出>

必 要 書 類	摘 要
長期履修申請書	教員に事前相談して申請許可を得た者のみ提出すること。
BP 履修証明書の写し	本学（旧 兵庫医療大学含む）の職業実践力育成プログラム（BP）を修了した者のみ提出すること。

試験概要

試験日

2025 年 9 月 27 日 (土)

※台風等の自然災害や、やむを得ない事情により実施できない場合は、試験日の翌日（予備日）に実施します。当該日程での試験中止および予備日を適用する場合は、試験日の前日 15 時までに本学ホームページにて通知します。

試験会場

本学（神戸キャンパス）（巻末参照）

※試験会場周辺道路は、全面駐車禁止のため、公共の交通機関を利用してください。

選抜方法

試験科目	試験時間
外国語(英語)	11:30~12:30(60 分)
面接	13:20~

※外国語(英語)の試験には、英語の辞書（ただし、電子辞書を除く）1冊の持ち込みを認めます。

試験当日の注意事項

1. 受験室への入室及び遅刻

- (1) 受験室の配置は試験当日に試験会場にて通知します。悪天候等の交通機関への影響を十分留意し、試験開始時刻に遅れないよう、特に注意してください。
- (2) 試験会場周辺の公共交通機関の乱れや遅れが生じ、試験当日、多くの受験者に影響があると本学が判断した場合、試験実施に支障をきたさない範囲で全体の試験開始時刻を変更（繰り下げる等）することがあります。試験開始時間に変更がある場合については、本学ホームページでお知らせします。ただし、このことに伴う受験者の不利益について本学は責任を負いません。
- (3) いかなる理由があっても、追試験・再試験は実施しません。
- (4) 受験室へは試験開始 15 分前までに入室してください。試験開始後 30 分以上の遅刻は認めません。
- (5) 受験票を忘れた場合は、受験室に入室する前に申し出てください。
- (6) その他の注意事項を P.20 以降に記載していますので必ず確認してください。

2. 昼食

昼食及び飲料が必要な場合は、各自持参してください。

3. 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症

試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に罹患して治癒していない者は、他の受験生や試験監督者に感染が拡がるおそれがありますので、受験をご遠慮願います。

該当する場合、あるいは該当するかどうかわからない場合は、試験当日の朝 8 時までに神戸教学課 大学院係 (daigakuin@ml.hyo-med.ac.jp) までご連絡ください。

合格発表・入学手続および学費について

合格発表

2025 年 10 月 8 日（水） 10 時

- 本学ホームページに合格者の受験番号を掲示します。
- 学内掲示は行いません。
- 合格者には合格通知書および入学手続書類を簡易書留速達郵便で発送します。
- 不合格者には通知は行いません。
- 本学への電話・郵便等による可否の問い合わせには一切応じません。

入学手続等

1. 入学手続期間

2025 年 10 月 9 日（木）～10 月 20 日（月）【必着】

※入学手続期間中に手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

2. 手続方法

入学手続期間中に入学金および授業料、教育充実費（前期分）を所定の振込依頼書で納入してください。また、入学手続書類については、合格通知書に同封しますので上記手続期間内までに届くようにしてください。

3. 納付金

- (1) 入 学 金 100,000 円
- (2) 授 業 料 200,000 円（前期分）
- (3) 教育充実費 50,000 円（前期分）

※上記金額以外に学外実習に関する費用を個別に徴収する場合があります。

※本学（旧 兵庫医療大学含む）出身者および学校法人兵庫医科大学の教職員は、入学金を免除します。

※後期分の授業料および教育充実費は、入学年度の 10 月以降に納付していただくことになります。

※長期履修制度の許可を受けた者には、履修年限に応じた金額を通知します。

4. 入学辞退をする場合

入学辞退を申し出て 2026 年 3 月 31 日（火）午後 5 時までに所定の辞退届を提出した者に限り、授業料および教育充実費（入学金は除く）の返還を請求することができます。

ただし、一旦提出された入学手続書類は返還しません。上記期限以降に辞退を申し出た場合、入学手続書類および入学金、授業料、教育充実費（前期分）は一切返還しません。

既修得単位認定制度について

この制度は、本学が教育上有益と認めるときに、学生が入学する前の大学院における既修得単位（科目等履修生等として修得した単位を含む。）について、本学において修得した単位として認める制度です。また、本学（旧 兵庫医療大学を含む）の職業実践力育成プログラム（BP）の PT・OT 臨床力ステップアッププログラム修了者については、既修得単位として 6 単位を包括的に認める場合があります。いずれも申請時から遡って 4 年以内に修得した授業科目が対象となり、この制度は入学時にのみ適用されますので全ての認定希望科目を一括申請してください。希望者は 2026 年 2 月 27 日（金）までに必要書類を揃えて申請してください。

入学資格申請について

個別の入学資格審査を希望する者（出願資格③⑥）は、次の必要書類を揃えて申請してください。

ただし、本学（旧 兵庫医療大学を含む）の職業実践力育成プログラム(BP)を修了した者については、あらかじめ出願資格があるものと認め、個別の入学資格審査の申請は不要とします。

必要書類

必 要 書 類	摘 要
☐ 入学資格審査申請書	本学 HP（リハビリテーション科学研究科）からダウンロード
入学資格審査結果通知用封筒	定型封筒（長形 3 号）に郵便切手（書留速達料金）を貼り、通知を確実に受け取れる郵便番号、住所、氏名を記入してください。

申請期間

2025 年 8 月 4 日（月）～ 8 月 21 日（木）【必着】

- 申請期間内に必着するように、郵送または持参してください。郵送の場合には、封筒の表に「入学資格審査申請書在中」と朱書きし、必ず「書留速達郵便」で以下の住所まで送付してください。
- 持参の場合の受付時間は、土日祝日及び本学神戸キャンパス夏季一斉休暇期間(2025 年 8 月 7 日(木)～8 月 15 日(金))を除く平日 9：00～17：00 とします。

〒650-8530

神戸市中央区港島 1 丁目 3 番地 6

兵庫医科大学（神戸キャンパス） 神戸教学課 大学院係宛

認定結果の通知

2025 年 8 月 29 日（金）

※審査の結果は、上記の日程に申請者へ通知（発送）します。

リハビリテーション科学研究科 修士課程 概要

リハビリテーション科学研究科は、下記の能力を身に付けた人材の育成を目標とします。

1. リハビリテーション科学における科学的根拠並びに最新の専門的知識を修得し、幅広い医療人としての教養を培います。
2. 専攻する分野において、より高度な専門的知識並びに研究能力を修得し、更なる発展・向上に努めることができる素養を培います。
3. 科学的根拠に基づいた臨床実践を展開でき、後進の育成に寄与できる指導者としての素養を培います。
4. 専攻する分野における研究課題に取り組み、研究能力を培います。

教育課程

リハビリテーション科学研究科では、病態運動学分野と人間活動科学分野の2つの柱で構成されています。

【 病態運動学分野 】

●運動器障害

運動をはじめとする様々な介入が身体機能や動作に与える影響、運動器障害に関連する病態の解明、運動器障害の予防や健康増進などに関連する領域を対象としています。

これらに関連する自ら設定したテーマについて、基礎医学や関連領域の知識・技術を用いて研究計画の立案、研究の実施、論文作成などの指導を行います。

●内部障害

呼吸・循環・代謝機能などの内部障害を有する方を対象とした治療的介入の向上に主眼をおき、病態を的確に捉え、介入の是非の判断やエビデンスに基づいたプランの立案ならびに適切な介入の実施、さらには効果判定ができる素養を有した人材を育成することを目的としています。

また研究では、呼吸・循環機能に関する運動生理学的手法を用いた基礎的研究から、実際の臨床に即した介入効果に関する研究など、幅広い関連領域からテーマを設定し、研究計画の立案・研究の実施、論文作成などの指導を行います。

●神経障害

脳血管障害を代表とする神経系に障害を有する方を対象とした治療的介入の向上に主眼をおく研究領域であり、障害像・生活環境に応じた介入方法や効果判定等にかかる高度な知識を有した人材を育成することを目標としています。急性期治療だけでなく、予防を含めて幅広いテーマが想定できることから、治療面だけでなく、生活指導や人材育成等も含めたテーマを取り扱うこととしています。研究指導においては、基礎的・臨床的テーマを設定し、研究計画の立案、研究の実施、論文作成を行います。

【 人間活動科学分野 】

●身体・認知活動

日常生活活動・余暇活動・生産活動等のひとの作業活動を、身体機能・認知機能との関連から科学する領域であり、障がいに関連する研究のみならず障がい予防や正常機能の探求も含めて、作業活動の質の向上に貢献することを目的とします。

研究では、自ら設定したテーマについて、先行研究や関連領域の知見をもとに研究計画の立案、研究の実施、論文作成を通して、ひとの作業活動に関する知見を発展させる能力の基盤を培います。

●精神活動

精神や高次脳機能、発達に障害があり生きづらさを抱える人々から、定量的もしくは定性的なデータを収集し、心身機能や活動・参加、環境の状況やそれらの相互作用を解明したり、精神活動のリハビリテーション技術の効果を検証したりすることを目的としています。

学生自らが設定したテーマに関する、文献研究、研究計画の立案、研究倫理審査、研究の実施、論文作成、プレゼンテーションといった一連のプロセスを指導します。

授業科目一覧

リハビリテーション科学研究科リハビリテーション科学専攻(修士課程)

科目区分		授 業 科 目	配当年次	単位数	
				必修	選択必修
共通科目 (修士・博士前期課程)		医療倫理学特論	1 前		1
		先進医療支援特論	1 前		1
		医療統計学特論	1 後		1
		小計 (3) 科目	—	0	3
専門基礎科目		リハビリテーション科学研究法	1 前	1	
		リハビリテーション医学特論	1 前		1
		疾病・病態特論	1 前		2
		運動生理学特論	1 前		1
		高次脳機能特論	1 前		1
		発達障害特論	1 前		1
		リハビリテーション科学トピックス	1 後	2	
		バイオメカニクス特論	1 後		1
		精神作業行動特論	1 後		1
		身体系作業学特論	1 後		1
		地域作業学特論	1 後		1
		ウィメンズヘルス特論	1 後		1
		行動科学研究法	1 後		1
		教育学特論	1 後		2
		リハビリテーション科学教育論 (養成校教育)	2 前		1
		リハビリテーション科学教育論 (臨床教育)	2 前		1
		リハビリテーション科学統計学実践特論	2 前		1
		小計 (17) 科目	—	3	17
専門科目	病態運動学分野	運動器障害学特論	1 前		2
		運動器障害学特論演習	1 後～2 通		6
		内部障害学特論	1 前		2
		内部障害学特論演習	1 後～2 通		6
		神経障害学特論	1 前		2
		神経障害学特論演習	1 後～2 通		6
		小計 (6) 科目	—	0	24
	人間活動科学分野	身体・認知活動学特論	1 前		2
		身体・認知活動学特論演習	1 後～2 通		6
		精神活動学特論	1 前		2
		精神活動学特論演習	1 後～2 通		6
		小計 (4) 科目	—	0	16
研究指導科目		リハビリテーション科学研究	1～2 通	8	
		小計 (1) 科目	—	8	0
合計 (31) 科目			—	11	60

※多くの科目で対面授業とオンライン授業を併用しております。

担当教員の連絡先

事前相談は下記の担当教員にアポイントを取った上で実施してください。

分野	専門分野	担当教員	連絡先
病態運動学	運動器障害	川口 浩太郎	kotaro@hyo-med.ac.jp
		坂口 顕	sakaguchi@hyo-med.ac.jp
		塚越 累	tsukagoshi.rui@hyo-med.ac.jp
	内部障害	玉木 彰	a-tamaki@hyo-med.ac.jp
		松沢 良太	ri-matsuzawa@hyo-med.ac.jp
		宮本 俊朗	t-miyamoto@hyo-med.ac.jp
	神経障害	永井 宏達	nagai-k@hyo-med.ac.jp
		日高 正巳	hidaka@hyo-med.ac.jp
		児玉 典彦	norihiko@hyo-med.ac.jp
		浅井 仁 ※2026 年度着任予定	daigakuin@ml.hyo-med.ac.jp
		道免 和久 ※2026 年度着任予定	daigakuin@ml.hyo-med.ac.jp
		野添 匡史	nozoe-m@hyo-med.ac.jp
		森 明子	moakiko@hyo-med.ac.jp
		佐久間 香	ka-sakuma@hyo-med.ac.jp
		荻野 智之	to-ogino@hyo-med.ac.jp
人間活動科学	身体・認知活動	平上 尚吾	hiragami@hyo-med.ac.jp
		南 征吾	se-minami@hyo-med.ac.jp
		田中 陽一	yi-tanaka@hyo-med.ac.jp
	精神活動	小林 隆司	ry-kobayashi@hyo-med.ac.jp
		松井 徳造	tokuzo_matsui@hyo-med.ac.jp
		清水 大輔	da-shimizu@hyo-med.ac.jp
		花家 竜三	ri-hanaie@hyo-med.ac.jp
		土江 伸誉	doe@hyo-med.ac.jp

- 入学後の主たる指導教員は、事前相談時にある程度、決定することになりますが、入学後の課題テーマの最終決定の段階によって、変更することも可能です。

【参考】修」までのスケジュール例

時期	事項	
	科目履修関係	研究指導
(1 年次) 4 月 (前期)	入学式 オリエンテーション実施 履修登録 科目履修 修士課程共通科目 専門基礎科目 専門科目	履修コース・指導教員の確定 先行研究の分析 予備研究実施 研究計画書の作成・提出 〈研究倫理審査委員会〉 年次研究計画書の作成・提出（指導教員との面談） 修士学位論文中間報告会
7 月		
10 月 (後期)	科目履修 修士課程共通科目 専門基礎科目 専門科目	倫理審査通過
3 月		年次研究結果報告書の作成・提出（指導教員との面談）
(2 年次) 4 月 (前期)	科目履修 専門基礎科目 専門科目	年次研究計画書の作成・提出（指導教員との面談） 研究遂行 (データ収集) (データ解析) 適宜、指導教員による指導
10 月 (後期)	科目履修 専門科目 (演習)	(データ追加収集・解析) 修士学位論文執筆
12 月		修士学位論文提出
1 月		修士学位論文審査・口頭試問
2 月		
		年次研究結果報告書の作成・提出（指導教員との面談）
3 月	修了	

< 博士後期課程 >

アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

本研究科博士後期課程では、リハビリテーション科学を追求し、新たなリハビリテーション科学の創生に向けて取り組み、リハビリテーション科学の更なる発展を担う人材の養成を目指している。そのため以下のような人材を求めています。

【求める人物像】

1. 責任感や高い倫理観に基づき研究を継続する能力を有する。
2. リハビリテーション科学の研究によって、この分野の発展に貢献するだけでなく、リーダーとなる意欲を有する。
3. 研究者及び優れた研究能力を備えた高度専門職者として、コミュニケーション能力と意欲を有する。
4. 新しい研究分野に取り組む高い意識と創造力を有する。
5. 国際的感覚及び語学力を有し、グローバルな視点で先進的な研究を推進し、その成果を世界に向けて発信する意志を有する。

【選抜方式】

1. 外国語：各種論文等の英文を読み取り、それらを適切に理解し統合する能力を判定します。
2. プレゼンテーション及び面接：研究実績や今後の研究に関するプレゼンテーションを通して、研究実績のための適性や倫理観、及び後進を育成するための研究者・教育者としての素養を判定します。

募集人員

2名

出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- ① 修士の学位又は専門職学位を有する者（入学日前月の末までに修了見込みである者を含む）
- ② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（入学日前月の末までに学位授与見込みである者を含む）
- ③ 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（入学日前月の末までに学位授与見込みである者を含む）
- ④ 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（入学日前月の末までに学位授与見込みである者を含む）
- ⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者（入学日前月の末までに学位授与見込みである者を含む）
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者
- ⑦ 研究科において、個別の入学資格審査により、第1号に定める者と同等以上の学力があると認めた者で、入学日前月の末までに24歳に達した者

※出願資格⑦により出願を希望する者は、事前に入学資格審査を受ける必要があります。

→対象者はP.17へ

出願概要

出願期間

2025 年 9 月 4 日（木）～9 月 12 日（金）【必着】

- 出願期間内に必着するように、郵送または持参してください。
- 持参の場合の受付時間は、土日祝日を除く平日 9：00～17：00 とします。

出願方法

出願書類をとりまとめ、角 2 の封筒に「封筒貼付用宛先用紙(本学 HP よりダウンロード)」を貼付し、必要事項を記入の上、「書留速達郵便」で以下の住所まで送付してください。

〒650-8530

神戸市中央区港島 1 丁目 3 番地 6

兵庫医科大学（神戸キャンパス） 神戸教学課 大学院係宛

受験希望分野の担当教員との事前相談

- 出願者は受験希望分野の担当教員と事前に必ず連絡をとり、博士後期課程において取り組みたい研究内容について相談してください。その場合、担当教員のメールアドレス（P.19）を参照し、教員と直接メールにて連絡をとってください。
- 長期履修制度については担当教員に相談のうえ、「長期履修申請書（本学 HP よりダウンロード）」を出願書類に同封してください。

出願上の留意事項

- 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- 出願書類に虚偽があった場合には、入学後であっても入学を取り消す場合があります。
- 一旦提出された書類および入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- 出願書類の受理後、受験票を発送します。試験日の 2 日前になっても受験票が届かない場合は、神戸教学課 大学院係（078-304-3014）に電話をして指示を受けてください。

身体的に支障または障がいの有する者の出願

身体的に支障または障がい有し、受験上および修学上特別な配慮を希望する者は、原則として、各試験の 1 か月前までに神戸教学課 大学院係（078-304-3014）へご相談ください。なお、専門医の診断書等障がいの程度を示す書類を提出していただく場合があります。

出願書類等

該当する学歴に応じて必要な書類ならびに共通の必要書類を準備してください。

必 要 書 類	摘 要
A 入学願書	本学 HP（リハビリテーション科学研究科）からダウンロード
B 志望理由書	
C 研究業績一覧	本学 HP（リハビリテーション科学研究科）からダウンロード ※入学資格審査申請時に提出済の場合は不要
D 研究計画書	本学 HP（リハビリテーション科学研究科）からダウンロード 博士後期課程において実施予定の研究テーマ・研究計画について 1,000 字程度で記入してください。
E 学位（修士）論文要旨、及び 学位（修士）論文の写し	本学 HP（リハビリテーション科学研究科）からダウンロード 修士の学位を有する者は、学位論文の要旨（1,000 字程度）及び学位論文の写しを提出してください。 出願時点で修士課程又は博士前期課程在籍中の者については、出願時点で整えられるもの（研究計画書及び現在までの研究進捗状況等）を本研究科所定の用紙に記入し、提出してください。 出願資格⑦により出願する者は、学位（修士）論文に代わる研究論文の要旨及び研究論文の写しを提出してください。
成績証明書	最終出身学校の学校長が作成し、厳封*したもので発行日から 6 ヶ月以内のもの。 ※学位授与機構から修士の学位を授与された者は学位証明書のみ提出すること。（成績証明書は不要）
卒業、修了（見込）証明書	
受験票・名票	本学 HP（リハビリテーション科学研究科）からダウンロード 出願時から 3 ヶ月以内に撮影したカラー写真（縦 4 cm×横 3 cm、上半身、正面、脱帽、無背景）を用意し、裏面に氏名を記入のうえ、所定の欄に貼り付けてください。
入学検定料	30,000 円（振込明細書の写しを提出） ※出願期間の 2 週間前より振込可能。 ※出願期間内に必ず受験者本人名義で振込ください。 （手数料本人負担） ※振込依頼人名の前に「インケンテイ」と入力してください。 （例）「インケンテイヒョウゴタロウ」 金融機関：三井住友銀行 支店名：西宮支店 預金種別：普通預金 口座番号：8899641 ヒョウゴイカダイガク コウベシンニウセイガクノウキンギョ 口座名義：兵庫医科大学 神戸新入生学納金口
返信用宛名用紙	本学 HP（リハビリテーション科学研究科）からダウンロード 郵便番号、住所、氏名を記入したもの（3 通分）。 ※入学試験合格者に対して、入学手続書類等を発送するために使用します。
受験票返信用封筒	定型封筒（長形 3 号）に郵便切手（普通料金）を貼り、受験票を確実に受け取れる郵便番号・住所・氏名を記入してください。

・厳封*：偽造・複写防止用紙の場合は厳封不要。

<該当者のみ提出>

必 要 書 類	摘 要
長期履修申請書	教員に事前相談して申請許可を得た者のみ提出すること。

試験概要

試験日

2025 年 9 月 27 日 (土)

※台風等の自然災害や、やむを得ない事情により実施できない場合は、試験日の翌日（予備日）に実施します。当該日程での試験中止および予備日を適用する場合は、試験日の前日 15 時までに本学ホームページにて通知します。

試験会場

本学（神戸キャンパス）（巻末参照）

※試験会場周辺道路は、全面駐車禁止のため、公共の交通機関を利用してください。

選抜方法

試験科目	試験時間
外国語(英語)	11:30～12:30 (60 分)
面接	13:20～

※外国語(英語)の試験には、英語の辞書（ただし、電子辞書を除く）1 冊の持ち込みを認めます。

※面接試験ではパワーポイントを用いて、これまでの研究成果や博士後期課程において実施予定の研究計画に関するプレゼンテーション（7 分程度）を行ってもらいます。入学試験当日に、プレゼンテーション用のデータを USB に入れ持参してください。

試験当日の注意事項

1. 受験室への入室及び遅刻

- (1) 受験室の配置は試験当日に試験会場にて通知します。悪天候等の交通機関への影響を十分留意し、試験開始時刻に遅れないよう、特に注意してください。
- (2) 試験会場周辺の公共交通機関の乱れや遅れが生じ、試験当日、多くの受験者に影響があると本学が判断した場合、試験実施に支障をきたさない範囲で全体の試験開始時刻を変更（繰り下げる等）することがあります。試験開始時間に変更がある場合については、本学ホームページでお知らせします。ただし、このことに伴う受験者の不利益について本学は責任を負いません。
- (3) いかなる理由があっても、追試験・再試験は実施しません。
- (4) 受験室へは試験開始 15 分前までに入室してください。試験開始後 30 分以上の遅刻は認めません。
- (5) 受験票を忘れた場合は、受験室に入室する前に申し出てください。
- (6) その他の注意事項を P.20 以降に記載していますので必ず確認してください。

2. 昼食

昼食及び飲料が必要な場合は、各自持参してください。

3. 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症

試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に罹患して治癒していない者は、他の受験生や試験監督者に感染が拡がるおそれがありますので、受験をご遠慮願います。

該当する場合、あるいは該当するかどうか分からない場合は、試験当日の朝 8 時までに神戸教学課 大学院係 (daigakuin@ml.hyo-med.ac.jp) までご連絡ください。

合格発表・入学手続および学費について

合格発表

2025 年 10 月 8 日（水） 10 時

- 本学ホームページに合格者の受験番号を掲示します。
- 学内掲示は行いません。
- 合格者には合格通知書および入学手続書類を簡易書留速達郵便で発送します。
- 不合格者には通知は行いません。
- 本学への電話・郵便等による可否の問い合わせには一切応じません。

入学手続等

1. 入学手続期間

2025 年 10 月 9 日（木）～10 月 20 日（月）【必着】

※入学手続期間中に手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

2. 手続方法

入学手続期間中に入学金および授業料、教育充実費（前期分）を所定の振込依頼書で納入してください。
また、入学手続書類については、合格通知書に同封しますので上記手続期間までに送付してください。

3. 納付金

- (1) 入 学 金 100,000 円
- (2) 授 業 料 250,000 円（前期分）
- (3) 教育充実費 50,000 円（前期分）

※上記金額以外に学外実習に関する費用を個別に徴収する場合があります。

※本学（旧 兵庫医療大学含む）出身者および学校法人兵庫医科大学の教職員は、入学金を免除します。

※後期分の授業料および教育充実費は、入学年度の 10 月以降に納付していただくことになります。

※長期履修制度の許可を受けた者には、履修年限に応じた金額を通知します。

4. 入学辞退をする場合

入学辞退を申し出て 2026 年 3 月 31 日（火）午後 5 時までに所定の辞退届を提出した者に限り、授業料および教育充実費（入学金は除く）の返還を請求することができます。

ただし、一旦提出された入学手続書類は返還しません。上記期限以降に辞退を申し出た場合、入学手続書類および入学金、授業料、教育充実費（前期分）は一切返還しません。

既修得単位認定制度について

この制度は、本学が教育上有益と認めるときに、学生が入学する前の大学院における既修得単位（科目等履修生等として修得した単位を含む。）について、本学において修得した単位として認める制度です。ただし、申請時から遡って 4 年以内に修得した授業科目が対象となり、この制度は入学時にのみ適用されますので全ての認定希望科目を一括申請してください。希望者は 2026 年 2 月 27 日（金）までに必要書類を揃えて申請してください。

入学資格申請について

個別の入学資格審査を希望する者（出願資格⑦）は、次の必要書類を揃えて申請してください。

必要書類

必 要 書 類	摘 要
☐ Z 入学資格審査申請書	本学 HP（リハビリテーション科学研究科）からダウンロード
☐ C 研究業績一覧	本学 HP（リハビリテーション科学研究科）からダウンロード
入学資格認定審査結果通知用封筒	定型封筒（長形 3 号）に郵便切手（書留速達料金）を貼り、通知を確実に受け取れる郵便番号、住所、氏名を記入してください。

申請期間

2025 年 8 月 4 日（月）～ 8 月 21 日（木）【必着】

- 申請期間内に必着するように、郵送または持参してください。郵送の場合には、封筒の表に「入学資格審査申請書在中」と朱書きし、必ず「書留速達郵便」で以下の住所まで送付してください。
- 持参の場合の受付時間は、土日祝日及び本学神戸キャンパス夏季一斉休暇期間(2025 年 8 月 7 日(木)～8 月 15 日(金))を除く平日 9:00～17:00 とします。

〒650-8530

神戸市中央区港島 1 丁目 3 番地 6

兵庫医科大学（神戸キャンパス） 神戸教学課 大学院係宛

認定結果の通知

2025 年 8 月 29 日（金）

※審査の結果は、上記の日程に申請者へ通知（発送）します。

リハビリテーション科学研究科 博士後期課程 概要

リハビリテーション科学研究科は、以下の能力を身に付けた人材の育成を教育目標とします。

1. 自らの研究によりリハビリテーション科学分野におけるエビデンスを創出できる人材
2. リハビリテーション科学を牽引していくリーダー的役割を果たせる人材
3. 地方公共団体との協働により地域保健計画の策定等に貢献できる人材
4. 産学連携によりリハビリテーション科学分野における機器開発を担える人材
5. リハビリテーション科学分野における国際的なフィールドで活躍できる人材

授業科目一覧

リハビリテーション科学研究科 リハビリテーション科学専攻（博士後期課程）

科目区分	授 業 科 目	配当年次	単位数		
			必修	選択	自由
専門基礎科目	Scientific English	1・2 前 ※隔年開講	1		
	先進リハビリテーション学	1・2 前 ※隔年開講	1		
専門科目	リハビリテーション科学特講	1 前	2		
	リハビリテーション科学特講演習	1 後	2		
研究指導科目	特別研究	1～3 通	12		
自由科目	教育学特論	1 後			2
	リハビリテーション科学教育論（養成校教育）	2 前			1
	リハビリテーション科学教育論（臨床教育）	2 前			1

※遠方からでも受講しやすいよう、多くの科目で対面授業とオンライン授業を併用しております。

担当教員の連絡先

事前相談は下記の担当教員にアポイントを取った上で実施してください。

分野	担当教員・連絡先	研究テーマ
リハビリテーション科学分野	浅井 仁 ※2026 年度着任予定 daigakuin @hyo-med.ac.jp	- 脳卒中患者の姿勢制御 - 姿勢制御および運動制御における体性感覚情報の役割 - 骨盤底筋群の随意収縮の知覚と体性感覚情報
	川口 浩太郎 kotaro@hyo-med.ac.jp	- 体幹機能に関する研究 - スポーツ外傷・障害に対する理学療法に関連する研究 - エクササイズが身体に及ぼす影響に関する研究
	小林 隆司 ry-kobayashi@hyo-med.ac.jp	- 放課後児童クラブと放課後等デイサービスの連携の効果検証 - 地域の多様な通いの場の支援の在り方 - 対象者の動機づけに関連する要因
	坂口 顕 sakaguchi@hyo-med.ac.jp	- 物理的エネルギーの影響についての検証 - 靴などの履物が身体に与える影響についての研究
	玉木 彰 a-tamaki@hyo-med.ac.jp	- 呼吸不全、心不全患者の骨格筋機能と短期的・長期的アウトカムの関連に関する研究 - 内部障害者の呼吸サルコペニアに関する研究
	道免 和久 ※2026 年度着任予定 daigakuin @hyo-med.ac.jp	- 脳卒中による機能障害評価法の研究 - 脳卒中片麻痺の機能予後予測の研究
	永井 宏達 nagai-k@hyo-med.ac.jp	フレイル・サルコペニアに対する効果的な予防策とリハビリテーションの構築
	日高 正巳 hidaka@hyo-med.ac.jp	理学療法教育が抱える諸問題に対し、教育学の種々の切り口から問題解決を図る研究
	平上 尚吾 hiragami@hyo-med.ac.jp	- 脳卒中患者を対象とした上肢運動麻痺に対する介入 - 生活行為中の姿勢制御、身体活動、および地域高齢者の生活活動に関する研究
	松井 徳造 tokuzo_matsui@hyo-med.ac.jp	身体醜形障害についての、DSM や ICD における診断学的な位置づけの変遷とその鑑別診断についての調査研究
	南 征吾 se-minami@hyo-med.ac.jp	作業療法の実践技術やリハ機器の開発等の研究、質的研究の手法を用いて課題を可視化しその解決策を目指す
	塚越 累 tsukagoshi.rui@hyo-med.ac.jp	運動器疾患患者や高齢者の動作、筋活動の特性と筋機能評価に関する研究
	野添 匡史 nozoe-m@hyo-med.ac.jp	- 脳卒中医学療法における評価指標の確立 - 高齢脳卒中に対する理学療法の効果検証
	松沢 良太 ri-matsuzawa@hyo-med.ac.jp	- 腎臓リハビリテーション - 心臓リハビリテーション
	宮本 俊朗 t-miyamoto@hyo-med.ac.jp	入院期の身体機能低下を最小限にするための理学療法介入戦略の構築
	森 明子 moakiko@hyo-med.ac.jp	- 骨盤底機能障害に対する骨盤底筋トレーニングの基礎的研究 - ウイメンズヘルス領域における理学療法の実践的研究
	花家 竜三 * ri-hanaie@hyo-med.ac.jp	- 発達障がい児の感覚・運動・認知・コミュニケーションに関連する研究 - 脳画像解析に関連する研究
	田中 陽一 * yi-tanaka@hyo-med.ac.jp	- 慢性疼痛患者の評価や介入法 - 運動麻痺手の使用頻度 - 脳損傷後の自動車運転支援

*：研究指導補助教員

●入学後の主たる指導教員は、事前相談時にある程度、決定することになりますが、入学後の課題テーマの最終決定の段階によって、変更することも可能です。

試験時間中の注意事項・対応・不正行為について

試験時間中の注意事項

- (1) 試験時間中は監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は失格となります。また不正行為とみなされるような態度があった場合は、退室を命じ、全科目を無効とします。
- (2) 試験会場及び受験室において、他の受験者に迷惑となるような行為は禁止します。
- (3) 受験票以外に試験時間中に机に置けるものは、鉛筆またはシャープペンシル（黒、「HB」、「B」程度）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のものを除く）、眼鏡および時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、手のひらサイズを超えるような大きなものは不可）です。これら以外の所持品を置いてはいけません。なお、これらの筆記用具等の貸し出しは行いません。
- (4) 定規・コンパス・計算機（電卓等）及び計算/辞書機能等の付いた時計等の使用はできません。
- (5) 携帯電話・スマートフォン等の電子機器は入室前に電源を切り、かばんにしまっておいてください。これらを時計の代わりに使用することは認められません。時計はアラーム機能を解除しておいてください。
- (6) 原則としてウェアラブル端末を試験会場へ持ち込まないようにしてください。試験当日、誤ってウェアラブル端末を持ち込んだ場合、不正行為として取り扱う場合があります。
- (7) ハンカチ、ティッシュペーパー、ひざかけ、座布団、目薬、鼻薬等の使用を希望する者は、事前に監督者に申し出て許可を得てください。
- (8) 試験時間中の飲食（ガム・飴等を含む）はできません。
- (9) 英文字等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでいただくことがあります。（ロゴマーク、ワンポイントの柄程度は可）
- (10) 各科目とも、試験時間終了時刻まで退出できません。試験時間中に気分が悪くなった場合は、一時退室を許可することがありますが、その際に要した試験時間の延長は認めません。
- (11) 試験は本学が定めた時計により試験時間の管理を行います。また試験開始については、試験監督の判断により指示します。

試験実施に際しての対応

本学では、試験の実施に際して、公平で良好な受験環境を提供できるよう努めていますが、やむを得ず以下のような対応をとる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- (1) 地震、大雪、洪水等の自然災害、火災、停電、その他本学の責によらない不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰下げ、休憩時間の短縮、試験会場の変更等の措置をとることがあります。なお、それによって生じた受験生の負担費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。
- (2) 受験室の設備（机、椅子、空調、照明、音響設備等）の違いは、一切考慮しません。
- (3) 試験時間中に、日常的な生活騒音等（航空機、自動車、風雨、空調音、動物の鳴き声、周囲の受験者の咳・くしゃみ、鼻をすする音等）が発生した場合、特別な措置は原則として行いません。
- (4) 試験時間中に、監督者が試験実施上必要な指示、説明、巡回を行うことによって生じる音等に対して、特別な対応はとりません。
- (5) 試験時間中に万一、携帯電話や時計等の音や振動が発生し、発生源となるかばん等が特定できた場合は、持ち主の同意なしに監督者が持ち出し、入学試験実施本部にて保管することがあります。
- (6) 他の受験生に迷惑と判断される行為がある場合は、受験の中止あるいは別室受験を指示する等の措置を講じることがあります。

不正行為について

以下に該当する行為は、不正行為です。不正行為を行った者は、その場で受験を中止し、退場していただきます。また、本学の当該年度の入学試験を全て無効とします。なお、入学検定料等は一切返還しません。

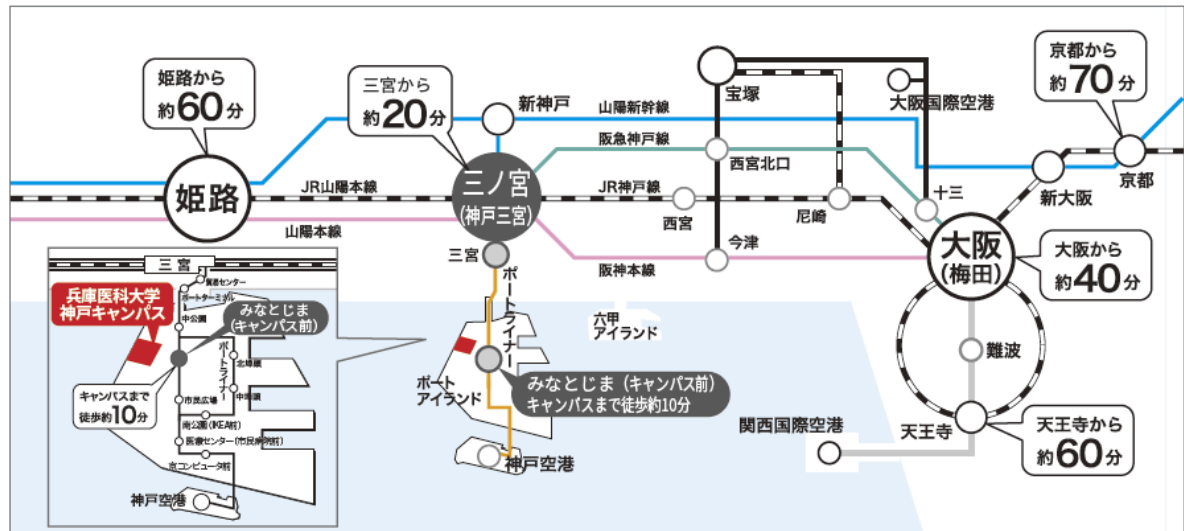
- (1) 解答用紙等へ故意に虚偽の記入をすること。(本人以外の受験番号・氏名を記入する等)
- (2) カンニング(カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案を見ること、他の人から答えを教わること等)をすること。
- (3) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- (4) 試験時間中に、問題冊子・解答用紙を受験室から持ち出すこと。
- (5) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- (6) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書やICレコーダー等の電子機器類を使用すること。(ストップウォッチ機能は使用できません)
- (7) 試験時間中に、定規等の補助具を使用すること。
- (8) 「解答を止めてください。筆記用具を置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

また、不正行為の疑いがある以下に例示した(9)～(14)の行為の場合には、監督者が注意もしくは事情聴取することがあります。なお、その際に要した試験時間の延長は認めません。指示等に従わない場合は、不正行為とみなします。

- (9) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末や電子辞書等の電子機器類、定規等の補助具をかばんにしまわず、身につけていたり手に持っていること。
- (10) 試験時間中に、携帯電話や時計等の音や振動を長時間鳴らす等、試験の進行に影響を与えること。
- (11) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。
- (12) 試験会場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (13) 試験会場において監督者等の指示に従わないこと。
- (14) その他、試験の公平性を損なうようなおそれのある行為をすること。

試験会場アクセス

本学へのアクセス



京都	JR東海道本線	約50分
大阪	JR東海道本線	約20分
明石	JR東海道・山陽本線	約15分
姫路	JR東海道・山陽本線	約40分
神戸	神姫バス(直通)	約15分

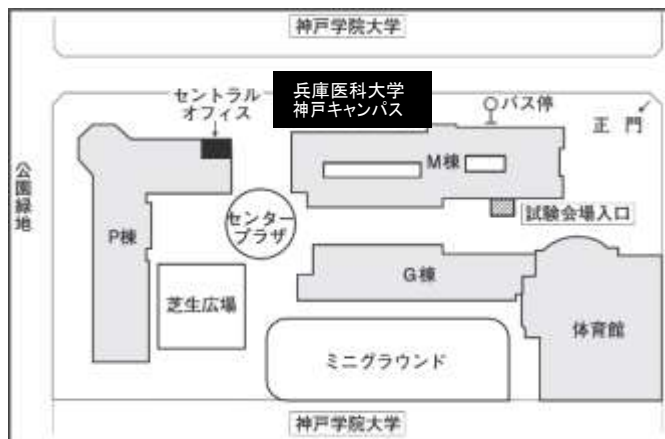
【三宮からのアクセス】

- ポートライナー「三宮」駅より「みなとじま(キャンパス前)」駅まで約9分、駅から大学まで徒歩約10分(ポートライナーは行き先問わず「みなとじま(キャンパス前)」に停車)
- 神姫バス「ボーアイキャンパス線三宮バス停」から「ボーアイキャンパス行き」に乗車約12分、ボーアイキャンパス東バス停下車すぐ

【神戸からのアクセス】

- 神姫バス「神戸駅南口」から「ボーアイキャンパス行き」に乗車約15分、ボーアイキャンパス東バス停下車すぐ

■周辺案内図



兵庫医科大学(神戸キャンパス)
 神戸市中央区港島1丁目3番地6
 TEL: 078-304-3014 (大学院係直通)
 Mail: daigakuin(at)ml.hyo-med.ac.jp
 ※“(at)”を“@”に置き換えてください